

外国為替証拠金取引説明書

目次

外国為替証拠金取引のリスクおよび財産の管理方法について	3
外国為替証拠金取引のリスクについての説明	4
外国為替証拠金取引の概要等	6
弊社との外国為替証拠金取引について	
取引の際の手続き	19
<参考> 金融先物取引業者の受託に関する禁止行為	21
<参考> 外国為替証拠金取引に関する主要な用語	23

本取引説明書は、金融先物取引法第2条4項に規定する店頭金融先物取引のうち同項第1号に規定する取引に該当する通貨の売買取引である外国為替証拠金取引についての説明書です。

本取引説明書の内容を必ずご確認ください。万一記載内容に相違又は疑義があるときは、遅滞なく外貨 ex お客様サービスセンターまで直接ご照会下さい。

外国為替証拠金取引のリスクおよび財産の管理方法について

商号:株式会社 サイバーエージェントFX

登録番号:関東財務局長(金先)第148号

連絡先:0120-724-277 info@gaikaex.net

加入協会:社団法人金融先物取引業協会 登録番号1555号

外国為替証拠金取引は、その取引の仕組みやリスクが外貨預金・外貨建てMMF、その他の金融取引や取引所において行われる取引所金融先物取引とは異なっています。従って、取引をされるにあたっては、約款、規程および本取引説明書を十分に読み、それらの内容ならびに下記の事項を十分に理解し、かつ異議なく承諾して頂く必要がございます。

1. お客様が行う外国為替証拠金取引の額は、その取引についてお客様が預託した証拠金の額に比べて大きいこと。
2. お客様が行う外国為替証拠金取引は元本が保証されたものではないこと。取引を開始された後に通貨等の価格又は金融指標の数値がお客様にとって不利な方向に変動した場合は、お客様は損失を被るおそれがあり、かつ当該損失の額がお客様が預託した証拠金の額を上回るおそれがあること。
3. お客様と弊社の取引は店頭金融先物取引であり、弊社は弊社の所定の金融機関との間でカバー取引(金融先物取引法施行規則第19条第1項第4号八において定義される意味を有するものとします。)を行っております。

カバー取引先(平成19年3月12日現在)

ドイツ銀行東京支店(Deutsche Bank AG Tokyo Branch) 銀行業

ゴールドマン・サックス証券株式会社(Goldman Sachs Japan Co.,Ltd.) 証券業

バークレイズ銀行東京支店(Barklays Bank Plc Tokyo Branch) 銀行業

株式会社三井住友銀行(Sumitomo Mitsui Banking Corporation) 銀行業

4. 弊社は、お客様からお預りした証拠金のうち円貨については、株式会社三井住友銀行の外国為替証拠金分別管理信託口座にて、弊社の固有財産とは分別して管理しております。尚、証拠金が信託口座へ入金されるまでの間にかかる信託に基づく信託保全の保全対象とはなりません。その間も金融庁長官の指定する金融機関において、証拠金であることがその名義により明らかな預金口座にて、弊社の固有財産とは分別して管理しております。
また、証拠金のうち外貨については、金融庁長官の指定する金融機関において、証拠金であることがその名義により明らかな預金口座にて、弊社の固有財産とは分別して管理しております。
5. 弊社およびカバー取引相手先銀行の信用状況によっては、お客様が損失を被るおそれがあること。

外国為替証拠金取引のリスクについての説明

外国為替証拠金取引には様々なリスクが存在します。下記の内容をお読みになり、外国為替証拠金取引の特徴、仕組み及びリスクについて十分に理解し、これらに異議なく承諾した上で、お客様の判断と責任において口座開設手続きを行なってください。

外国為替証拠金取引はすべてのお客様に無条件に適しているものではありません。お客様の投資目的、経験、知識、財産の状況等様々な観点からお客様ご自身がお取引を開始されることが適切であるかどうかについて十分にご検討して頂くようお願いいたします。

外国為替証拠金取引の性質と信用リスク

株式会社サイバーエージェント FX(以下「弊社」といいます。)が提供する外国為替証拠金取引は店頭金融先物取引です。従って、インターバンク(銀行間)を含むすべての外国為替証拠金取引は相対取引(OTC = Over The Counter 取引)によって行われます。弊社は、外国為替証拠金取引に関してお客様のカウンターパーティ(取引の相手方)として行動することになり、弊社とお客様との間の取引は、証券取引や取引所先物取引とは異なる独自の規制に基づいて管理されます。そのような性質から OTC 取引においては、契約の締結や取引の実行は、当事者同士の信頼に依存する部分が取引所取引と比べてより高くなります。従って、お客様には外国為替証拠金取引を開始される前に、取引の性質とリスクについてのご理解をお願いいたします。

為替変動リスク

外国為替市場では、24 時間常に為替レートが変動しております。(土日・一部の休日を除きます。)従って、相場がお客様の予想と一致しなかった場合には、為替差損が発生することがあります。

金利変動リスク

外国為替証拠金取引は、通貨の交換を行うのと同時に金利の交換も行なわれ、日々スワップポイントの受取又は支払が発生します。スワップポイントの受取又は支払は、各国の景気や政策など様々な要因による金融情勢を反映した市場金利の変化に応じて日々変化します。そのため、その時々々の金利水準によってスワップポイントの受取又は支払の金額が変動したり、場合によっては受取又は支払の方向が逆転するリスクがあります。またお客様がポジション(建玉)を決済するまで、スワップポイントの受取又は支払が発生します。

流動性リスク

マーケットの状況によっては、お客様が保有するポジション(建玉)を決済することや新たにポジション(建玉)を保有することが困難となる場合があります。外国為替市場には値幅制限がなく、特別な通貨管理が行われていない日本円を含む主要国通貨の場合、通常高い流動性を示しています。しかし、主要国での祝日や、ニューヨーククローズ間際・週始のオープンにおけるお取引、あるいは普段から流動性の低い通貨でのお取引は、弊社の通常の営業時間帯であってもマーケットの状況によっては、レートの提示が困難になる場合もあります。

また、天変地変、戦争、政変、為替管理政策の変更、同盟罷業等の特殊な状況下で特定の通貨のお取引が困難又は不可能となるおそれもあります。

オンライン取引に関するリスク

オンライン取引システムを利用したお取引は、電話でのお取引とは異なる独自のリスクが存在します。オンライン取引システムでのお取引の場合、注文の受付に人手を介さないため、お客様が売買注文の入力を誤った場合、意図した注文が約定しない、あるいは意図しない注文が約定するおそれがあります。

オンライン取引システムを利用する際に用いられる口座番号、パスワード等の情報が、窃盗、盗聴などにより漏れた場合、その情報を第三者が悪用することによりお客様に損失が発生するおそれがあります。

また、意図せざるシステム障害等により、お客様の注文が約定せず、お客様のお取引が停止、遅延するおそれがあります。

レバレッジ効果によるリスク

外国為替証拠金取引にはレバレッジ(てこの作用)による高度なリスクが伴います。レバレッジの倍率が高くなればなるほど、実際の投資した資金(預託した証拠金の金額を含みます。)に比べ大きな取引が可能となるため、大きな利益が期待できる反面、予想した相場と違った場合には損失も大きくなります。そのため、市場がお客様のポジション(建玉)に対し、不利な方向に変動した場合、お客様の損失の拡大を防ぐため、弊社の所定の方法により、強制的にお客様のポジション(建玉)の全部を反対売買し、決済させて頂くおそれがあるとともに、投資した資金(預託した証拠金の金額を含みます。)を超える損失の拡大を被るおそれもあります。

以上は、外国為替証拠金取引に伴う典型的なリスクを簡潔に説明するものであり、お取引に生じる一切のリスクを漏れなく示すものではありません。

このように、外国為替証拠金取引は、多額の利益が得られることもある反面、多額の損失を被る危険を伴う取引です。したがって、取引を開始する場合、又は継続して行う場合には、本取引説明書や約款、規程だけに依拠せず、適宜、自己の弁護士、税理士等の専門家の助言を得るなどしながら、取引の特徴、仕組みやリスクについて十分に研究し、お客様の投資目的、経験、知識、財産の状況等に照らして適切であると判断する場合にのみ、自己の判断と責任において行うことが肝要です。

外国為替証拠金取引の概要等

1. 外国為替証拠金取引とは

外国為替証拠金取引とは、事前に取引金額の一部を証拠金として預託した上で差金決済による外国為替の売買を行う店頭金融先物取引(金融先物取引法第2条4項1号に該当する取引で、当該売買の目的となっている通貨等の現受け・現渡し決済若しくは売戻し又は買戻しをしたときは差金の授受によって決済することができる取引)をいいます。

外国為替証拠金取引からは次の2種類の損益が生じます。

- 売買損益
安(高)く買った通貨を高(安)く転売、もしくは高(安)く売った通貨を安(高)く買戻すという売買による差益(損)。
- スワップポイントによる損益
未決済ポジション(建玉)1取引単位あたりについて当該通貨間の金利差に基づき発生する損益。高金利(低金利)通貨を買って、低金利(高金利)通貨を売ることにより金利差相当額を受け取る(支払う)ことによる利益(損益)(18.スワップポイントを参照)。

2. 口座開設について

口座開設のお申込は弊社 Web サイトもしくは専用の口座開設申込用紙にて受付いたします。お問い合わせ等は外貨 ex お客様サービスセンター(0120-724-277)もしくは、メール(info@gaikaex.net)でお受けいたします。

外国為替証拠金取引は、リスクが大きく、大きな損失を被るおそれがあります。弊社で外国為替証拠金取引口座を開設して頂くにあたっては、原則として次の要件を満たして頂くことが必要となります。

外国為替証拠金取引の特徴、仕組み及びリスク、並びに本取引の特徴、取引条件、仕組み及びリスク等について、約款、規程及び本取引説明書を十分に理解し、かつこれらに異議なく承諾して頂くこと。

弊社が定める基準を満たしていること。弊社の基準の主なものは以下のようになっております。

- ご自身の判断と責任により外国為替証拠金取引を行うことができること。
- 弊社からの電子メール又は電話で常時連絡がとることができること。
- ご自身の電子メールアドレスをお持ちであること。
- 外国為替証拠金取引の取引の条件を記載した書面(金融先物取引法施行規則第20条第4項第1号に規定される書面を含みます。)を電磁的方法により提供することを、書面又は情報通信を利用する方法によりご承諾頂けること。
- 日本国内に居住する20才以上の行為能力を有する個人、又は日本国内で本店若しくは支店が登記されている法人であること。
- 本約款及び本規程に定めるお客様の義務に違反していないこと。
- マネーロンダリング等の公序に反する取引その他不法又は不正の疑いのある取引に利用するために外国為替証拠金取引を行わないこと、又は不法な反社会的勢力の一員でないこと。
- お客様が弊社より払い戻す金銭の受取口座(振込先銀行口座)は、国内に存する金融機関のうちから弊社が指定する金融機関に開設することにご同意頂けること。

- 金融先物取引法に規定される外務員登録を受けていないこと。
- その他弊社が定める基準を満たしていること。

3. 本人確認書類の提出

2003年1月6日に施行されました「金融機関等による顧客等の本人確認等に関する法律(本人確認法)」に基づき、弊社におきましては、お客様ご本人の確認を徹底する目的で運転免許証、住民票の写し等をご提出して頂いております。

ご利用頂けるご本人確認書類は下記の通りです。

(個人のお客様の場合) いずれか1点をご提出ください。

1. 各種健康保険証 住所等手書きの記載によるものはお受けいたしかねます。
(共済組合員証は健康保険証に準じます。)
2. 運転免許証
3. 外国人登録証明書
4. 住民票の写し
5. 住民票記載事項証明書
6. 印鑑証明書
7. 外国人登録原票記載事項証明書

1~3は有効期限内又は現在有効なもの写しをご用意下さい。

4~7は作成・発行から3ヶ月以内のものをご用意下さい。

(法人のお客様の場合) 下記2点双方をご提出下さい。

1. 登記簿謄本、履歴事項全部証明書(または現在事項全部証明書)のいずれか1点
ご注意
発行から3ヶ月以内の原本(コピー不可)をご用意下さい。
2. 取引担当者の本人確認書類(上記個人のお客様の場合と同様です。)

4. 取引方法について

外貨 ex ではパソコンの他、携帯端末画面でもお取引頂けます。

一部携帯端末からのご利用ができないサービスがございます。

弊社からの「お知らせ」については、携帯端末からご確認頂けませんのでご注意下さい。

5. 取引時間

	取引時間	取引停止時間時期 (システムメンテナンス)
通 常	月曜日午前7時~土曜日午前6時40分	毎日午前6時40分~午前7時
米 国 サ マ ー タイ ム 時 期	月曜日午前7時~土曜日午前5時40分	毎日午前5時40分~午前6時

弊社システムの機器等の瑕疵若しくは障害又は補修等やむを得ない事由がある場合には、予告なくサービスの一部又は全部の提供を一時停止することがございます。

尚、弊社は法律、政令、規則、その他の法令の新設・改廃・経済情勢又は為替市場の状況等の変化に伴い取引時間を変更できるものとします。

6. 取引可能日

原則として前項の取引時間帯で業者間の相対取引が可能な状況であれば、日本の金融機関休業日であっても年末年始・欧米のクリスマス期間など弊社が予め指定する時間帯を除いて取引できます。

ただし、年末年始・欧米のクリスマス期間などは、為替市場の出来高が激減し、売買スプレッドが広がるなど、流動性リスクが高くなるおそれがあります。

取引日等に関する弊社の定義

営業日	営業日とは、法令等に定義される国内の金融機関の休業日以外の日をいいます。
取引日	取引日とは、本取引が行うことができる日をいいます。
約定日	約定日とは、お客様の売買注文が約定した日をいいます。
約定	お客様の注文に従って、売買取引が成立することをいいます。

7. 取引通貨

通貨ペアとは、本取引の対象となる一対の通貨をいい、左右並べて表記し、左側の通貨1単位に対して右側の通貨で売買するのに必要な金額で表示されます。

外貨 ex で取扱う通貨ペアは USD/JPY(米ドル/円)、EUR/JPY(ユーロ/円)、AUD/JPY(豪ドル/円)、GBP/JPY(英ポンド/円)、NZD/JPY(ニュージーランドドル/円)、CAD/JPY(カナダドル/円)、CHF/JPY(スイスフラン/円)、EUR/USD(ユーロ/米ドル)の組み合わせとなります。

また、証拠金は日本円の他弊社の定める通貨での差入れとなり、評価損益合計額は円換算で表示、計算します。

8. 取引単位

各通貨の最低取引単位は次のようになります。

USD(米ドル)の最低取引数:1,000 米ドル

EUR(ユーロ)の最低取引数:1,000 ユーロ

AUD(豪ドル)の最低取引数:1,000 豪ドル

GBP(英ポンド)の最低取引数:1,000 英ポンド

NZD(ニュージーランドドル)の最低取引数:1,000 ニュージーランドドル

CAD(カナダドル)の最低取引数:1,000 カナダドル

CHF(スイスフラン)の最低取引数:1,000 スイスフラン

9. 呼び値の単位(ティック)

1通貨単位あたり0.01円です。

ユーロ米ドルの場合は、1通貨単位あたり0.0001米ドル。

10. 取引レート

1通貨単位の円価格を画面上に掲示いたします。

外貨 ex ではビット価格(Bid)とオファー価格(Ask)の両方の価格を同時に掲示いたします。ビット価格とオファー価格の間には価格差(スプレッド)があります。スプレッドは相場動向の急変及び市場の流動性の減少等より変動する場合があります。

11. 決済

決済とは、反対売買にかかる注文が約定した場合に、売付(買付)総約定代金から買付(売付)総約定代金および取引手数料その他の諸経費等を控除した金額にスワップポイントを加減した金額を授受することをいいます。現受け・現渡し決済においては売付(買付)総約定代金に手数料その他の諸経費等を控除(加算)した金額にスワップポイントを加減した金額を授受することをいいます。

12. 注文の種類

種類	説明
リアルタイム注文(PC)	その時の実勢為替相場に準拠した取引価格で、今すぐ約定したい時に使う注文方法です。取引可能な価格が常に表示・自動更新され、表示中の取引価格をクリックすることでその取引価格での注文をし、約定することができます。但し、注文中に取引価格が変動した場合、その注文は約定しません。
マーケット注文(携帯のみ)	その時の実勢為替相場に準拠した取引価格で、今すぐ約定したい時に使う注文方法です。注文を指示したタイミングで取引可能価格が提示され、その価格での取引が成立します。但し、注文中に取引価格が変動した場合、その注文は約定しません。
指値注文	価格を指定する注文方法です。
逆指値(ストップ)注文	指定した価格以上で買う、又は指定した価格以下で売るといった注文方法。利益や損失の水準を決める際に便利です。
IFD(If Done)注文	予め新規注文と決済注文の価格を指定して、同時に発注しておく注文方法。新規注文が約定した後、予め指定した価格で決済注文ができるため、利益や損益を確定することができます。
OCO注文 (One side done then Cancel the Other order)	2つの注文を同時に出しておき、一方が約定するともう一方の注文は自動的に取り消される注文方法。新規注文の同時発注および、決済注文の同時発注が可能となります。価格がどちらかに振れようとしている際に、利益や損失を予め決めることが可能となります。
IFO(IFD + OCO)注文	IFDとOCOを組み合わせた注文方法。予め新規注文の価格を指定すると同時に、決済注文で2つの注文を同時に発注することが可能です。

外貨 ex では、月曜日(休場の翌日)の取引開始時(午前7時)において、指値注文、逆指値(ストップ)注文は取引開始レート(オープンレート)で約定の条件を満たしていれば、当該取引開始レート(オープンレート)で約定いたします。このとき、お客様の有利になる約定もありますが、不利になる約定もありますので、週末(休場日)に大きな為替相場の変動要因がある場合は、保有されているポジション(建玉)の縮小、もしくは追加でご入金頂く等、ご資産に余裕をお持ちになれることをおすすめいたします。

13. 注文状況について

取引画面に表示される注文状況は以下のとおりです。

注文状況	説明
約定済	約定した注文
待機中	IFD、IFO の新規注文が約定した時に執行される未執行の注文
取消済	お客様が取消をされた注文
不成立	約定すること無く注文期限の経過した注文
有効	指値注文、逆指値注文、IFD の新規注文、OCO の新規注文、IFO の新規注文が注文の期限が未到来であり、かつ未約定である時の表示

14. 注文の期限

当日	約定が可能となる日の属する取引可能時間終了まで。 (翌日午前 6 時 40 分(米国サマータイム時期は翌日午前 5 時 40 分))
週末	約定が可能となる日の属する週末の取引可能時間終了まで。 (土曜日午前 6 時 40 分(米国サマータイム時期は土曜日午前 5 時 40 分))
無期限	お客様からの取消がない限り有効
指定日時まで	お客様の指定した日時まで

5.取引時間を参照

15. 注文の取消等

お客様は、注文が約定されていない限り、規程第 9 条に基づいて注文を取消又は撤回(以下「取消等」といいます。)することができます。このとき指値等によるご注文内容、指定レート、取引数量を取消等される場合には、その内容を弊社の定める方法により取消等してください。

16. 取引数量上限

1 回の注文数量は 300 万通貨単位までご発注頂けます。レバレッジ 100 倍のコースをお選びのお客様は、保有ポジション(建玉)の総数の上限を 1,000 万通貨単位までとします。

17. 手数料

取引手数料については、1 回の約定及び 1 回の決済ごとに、10,000 通貨単位あたり 300 円(1 通貨単位あたり 3 銭)になります。ただし、弊社は任意の裁量により、かかる取引手数料を減額することが出来ます。また、新規にて注文したポジション(建玉)を同一取引日内に反対売買し、決済した場合には、新規注文の際の約定についての手数料はかかりますが、決済にかかる手数料は、無料となります。

尚、取引手数料は、約定時の手数料も含めて、取引の決済時に一括での徴収となります。

18. スワップポイント

外国為替証拠金取引におけるロールオーバーは、当該営業日に係る決済日から翌営業日に係る決済日までの売付通貨の借入れ及び買付通貨の貸付けを行ったことと実質的に同じであると考えられます。ロールオーバーにより決済期日が繰り越される場合に、組合せ通貨間の金利差を調整するために、その差に基づいて算出される額をスワップポイントといいます。

ここで、当該営業日にかかる決済日とは、通常2営業日後であり、スワップポイントは決済日に受取又は支払いがなされます。従って、1日分のロールオーバー毎に受取又は支払いが1日分延長されるため、1日分のスワップポイントが付与されますが、水曜日から木曜日にロールオーバーした場合は、受渡日が金曜日から月曜日に3日間延長となるため、3日分のスワップポイントが加算されます。但し、当該通貨国の祝祭日等により、付与日数が変更となる場合があります。

弊社ではスワップポイントを日時評価損益に反映致します。実際の受取又は支払はポジション(建玉)を反対売買し、決済した際に行います。

高金利の通貨を買い、低金利の通貨を売れば、金利差調整分を受け取れます。逆に、低金利の通貨を買い、高金利の通貨を売れば、金利差調整分を支払うこととなります。

スワップポイントにはビッドとオファーの開き(スプレット)があり、受取、支払いの金額が異なります。

通貨間の金利差が小さいときは売り買い共に支払いとなることがあります。

スワップポイントの付与について、日時評価損益反映時に小数点第一位を切捨てて反映します。

「ポジション(建玉)」とは、未決済の約定のものをいいます。

「ロールオーバー」とは、同日営業日中に反対売買されなかったポジション(建玉)を翌営業日に繰り越すことをいいます。

19. 完全前受制度

弊社のシステムが外貨 ex お客様口座へお客様からの証拠金のご入金を合理的に認識しうる時点をもって、お客様は取引が可能となります。

20. 証拠金等の入金

お客様が預託する証拠金は、円貨又は弊社が別途指定する外貨に限られます。また、お客様による証拠金等の預託の方法は、弊社指定銀行口座への振込入金に限られます。

尚、弊社指定銀行口座への振込の際の振込手数料は、お客様負担といたします。ただし、クイック入金サービス(取引画面からの指定銀行のネットバンクを利用した振込)の場合の振込手数料は弊社負担といたします。

21. 証拠金等の出金

ある時点において弊社に預託されている有効証拠金の額が、当該時点における保有ポジション(建玉)にかかる取引証拠金、注文中証拠金、及び当該時点における出金依頼金額の合計額を超過している場合には、お客様は、当該超過分の全部又は一部の返還を受けることができます。

【円貨】

出金金額が50万円以内の場合で当日中に出金をご希望の場合、12時までに受け付けた出金については、当日中に出金します。それ以外は翌々営業日の出金になります。

50万円を超える出金の場合で当日中に出金をご希望の場合、12時までに受け付けた出金については、50万円を当日中に出金し、残金は翌々営業日の出金になります。

また、当日中に出金をご希望されない場合は、翌々営業日の出金になります。

【外貨】

当日午前 7 時までには受け付けた出金については、翌々営業日に出金します。(夏時間適用時は 1 時間早まります。)

通貨によってスポット応答日が異なるため、出金日が異なる場合がございます。応答日カレンダーおよび取引画面内の表示でご確認ください。外貨送金手数料につきましては、弊社の所定の送金手数料をお支払い頂くことがあります。

22. 証拠金等に関する用語

用語	説明
預り資産	お預りしているお客様の資産
預り資産合計	お預りしている資産の合計で外貨については円換算し、合計したものの。
取引証拠金	ポジション(建玉)をもつ際に取引の担保として弊社に予め預託することが必要な担保金。レバレッジのコースにより異なります。
未払手数料	新規にポジション(建玉)を注文し、約定した際に発生する取引手数料であり、当該ポジション(建玉)を反対売買し、決済した際に併せて徴収される予定のもの。 新規建同日中の場合は、新規約定分のみ拘束し、未払手数料に計上されます。 新規建翌日移行の場合は、新規・決済約定分共に拘束し、未払手数料に計上されます。
評価損益(金)	現在お持ちのポジション(建玉)で発生している損益金額であり、外貨については円換算したものの。
注文中証拠金	ある時点において発注済でかつ約定前の注文に係る取引証拠金の合計額。
出金依頼金額	お預りしている資産から出金依頼の指示を出された金額で、出金が完了するまで表示されます。
有効証拠金	預り資産合計 - 取引評価損 - スワップ損 - 未払手数料 この時に取引評価損は当該時点においてお客様が保有するポジション(建玉)に係る評価損を合計した額となります。
返還可能額 (利用可能額/取引余力)	有効証拠金 - 取引証拠金 - 注文中証拠金 - 出金依頼金額
(証拠金)維持率	有効証拠金 ÷ 取引証拠金

23. レバレッジ

外貨 ex ではレバレッジのコースを 10 倍、30 倍、50 倍、100 倍の 4 種類をご用意しております。口座開設時に 30 倍、50 倍、100 倍のコースをご指定される場合には、レバレッジコースの変更に關する同意書を差入れて頂きます。尚、ご指定のない場合、10 倍コースでのお取引となります。また、口座開設後におきましてもレバレッジコース変更に關する同意書を差入れて頂くことにより、コースの指定を変更することが可能です。

レバレッジ 10 倍コース(初期設定)

通貨ペア	取引証拠金額	通貨単位
米ドル / 円	100,000 円	1 万通貨あたり
ユーロ / 円	100,000 円	1 万通貨あたり
ユーロ / 米ドル	100,000 円	1 万通貨あたり
豪ドル / 円	80,000 円	1 万通貨あたり
英ポンド / 円	200,000 円	1 万通貨あたり
ニュージーランドドル / 円	80,000 円	1 万通貨あたり
カナダドル / 円	100,000 円	1 万通貨あたり
スイスフラン / 円	80,000 円	1 万通貨あたり

レバレッジ 30 倍コース

通貨ペア	取引証拠金額	通貨単位
米ドル / 円	40,000 円	1 万通貨あたり
ユーロ / 円	40,000 円	1 万通貨あたり
ユーロ / 米ドル	40,000 円	1 万通貨あたり
豪ドル / 円	30,000 円	1 万通貨あたり
英ポンド / 円	70,000 円	1 万通貨あたり
ニュージーランドドル / 円	30,000 円	1 万通貨あたり
カナダドル / 円	40,000 円	1 万通貨あたり
スイスフラン / 円	30,000 円	1 万通貨あたり

レバレッジ 50 倍コース

通貨ペア	取引証拠金額	通貨単位
米ドル / 円	20,000 円	1 万通貨あたり
ユーロ / 円	20,000 円	1 万通貨あたり
ユーロ / 米ドル	20,000 円	1 万通貨あたり
豪ドル / 円	16,000 円	1 万通貨あたり
英ポンド / 円	40,000 円	1 万通貨あたり
ニュージーランドドル / 円	16,000 円	1 万通貨あたり
カナダドル / 円	20,000 円	1 万通貨あたり
スイスフラン / 円	20,000 円	1 万通貨あたり

レバレッジ 100 倍コース

通貨ペア	取引証拠金額	通貨単位
米ドル / 円	10,000 円	1 万通貨あたり
ユーロ / 円	10,000 円	1 万通貨あたり
ユーロ / 米ドル	10,000 円	1 万通貨あたり
豪ドル / 円	8,000 円	1 万通貨あたり
英ポンド / 円	20,000 円	1 万通貨あたり
ニュージーランドドル / 円	8,000 円	1 万通貨あたり
カナダドル / 円	10,000 円	1 万通貨あたり
スイスフラン / 円	10,000 円	1 万通貨あたり

外国為替証拠金取引にはレバレッジ(てこの作用)による高度なリスクが伴います。レバレッジの倍率が高くなればなるほど、実際の投資した資金(預託した証拠金の金額を含みます。)に比べ大きな取引が可能のため、大きな利益が期待できる半面、予想した相場と違った場合には損失も大きくなります。その為、市場がお客様のポジション(建玉)に対し不利な方向に変動した場合、お客様の損失の拡大を防ぐため、弊社の所定の方法により、お客様の保有するポジション(建玉)の全部を強制的に決済させていただきます(「ロスカットルール」)。このロスカットルールが発動された場合でも、相場の変動が急激である場合には、お客様は投資した資金(預託した証拠金の金額を含みます。)を超える損失の拡大を被るおそれもあります。

レバレッジにつきましては下記についてもご注意ください。

レバレッジ 100 倍コースをお選びの場合、保有できるポジション(建玉)総数の上限を 1,000 万通貨単位とします。

レバレッジコースを変更する際は、変更時点でポジション(建玉)を保有していないことが条件になるため既存の保有ポジション(建玉)を予め決済して頂き、残った証拠金を新たなコースへ移行する手順となります。

弊社の定める審査基準に基づき、レバレッジコースの変更をお断りする場合がございます。

レバレッジコースの変更は、弊社からお客様に対するレバレッジコース変更完了の通知(電子メールによる通知を含みます。)により効力が発生するものとします。

24. 評価損益

ロスカット等を判断する際に採用する為替レートは、買ポジション(買建玉)の場合は、オファー価格(Ask レート)、売ポジション(売建玉)の場合は、ビッド価格(Bid レート)に基づいて評価損益を計算します。

25. 外貨による証拠金の取扱について

外貨による取引証拠金の差入れもお受けいたします。但し、常時弊社が提示する実勢レートに基づき、円貨に換算されますのでご注意ください。このとき、外国為替相場の変動に伴う決済損の発生等により円勘定に不足が生じた場合は不足額の円貨の差入れを行って頂くか、不足額相当額の外貨預託証拠金の円転等、弊社が定める必要な措置を行って下さい。

また、同様に外貨建ての決済損の発生等により、外貨勘定に不足が生じた場合は、不足額の外貨を差入れて頂くか、不足額相当額の円貨について外貨への両替等、弊社が定める必要な措置を行って下さい。

26. ロスカットルール

ロスカットルールとは、取引証拠金が(証拠金)維持率 20%(ロスカットライン)を下回った際に、損失の拡大を防ぐために、弊社の所定の方法により、強制的にお客様の保有するポジション(建玉)の全部を反対売買して決済する制度です。

弊社は、原則として、(証拠金)維持率が適正の場合(50%以上)は 30 分毎、(証拠金)維持率 50%を下回った危険口座の場合は 1~2 分毎に証拠金の評価を行い、取引画面にその旨を表示してお客様に通知します。

(証拠金)維持率が 20%(ロスカットライン)を下回った場合、お客様の保有するポジション(建玉)を反対売買し、決済された内容を、取引画面に表示してお客様に通知します。

尚、弊社はかかる表示に併せて電子メールによる通知を行うことがあります。お客様は自己の責任において、取引画面にてポジション(建玉)の管理を行うものとし、お客様の事情によりこれらの電子メールが届かなかったとしても、弊社は一切の責任を負わないものとします。

尚、ロスカットによって、有効証拠金が 0 円を下回りお客様の口座に不足金が生じた場合には、お客様は不足金発生日の翌々営業日の午後 3 時までに当該不足金を外貨 ex 口座に差入れて頂く必要があります。

弊社ではロスカットルールを設けておりますが、最終的に急激な相場変動等により預り資産以上の損失を被り、当該不足金を追加で預託する義務が発生するおそれがあります。

27. 不足金について

外国為替相場の変動に伴い、お客様の保有するポジション(建玉)の決済等による損金額が預り資産合計を上回り、不足金が発生した場合には、お客様は弊社の請求により不足金を外貨 ex 口座にご入金して頂く必要があります。弊社の請求によって定められた履行期日までに当該不足金のご入金がない場合は、弊社は、履行期日の翌日より履行の日まで、年率 14.6%の割合による遅延損害金を申し受けるものとします。

28. 現受け・現渡し注文について

現受け・現渡し注文においては売付(買付)総約定代金に手数料その他の諸経費等を控除(加算)した金額にスワップポイントを加減した金額を外貨 ex 口座において授受することをいいます。

現受け・現渡し注文を行う場合は、対象となる通貨、及び決済に必要な金額が証拠金として事前に預託されている必要があります。

現受け注文の場合、前もって外貨の買いポジション(買建玉)を保有しており、当該外貨相当額の円貨とその他決済に必要な金額が預託されている必要があります。

現渡し注文の場合、前もって外貨の売りポジション(売建玉)を保有しており、当該外貨額が預託されていて、かつ取引手数料及び、スワップポイント分に相当する円貨が預託されている必要があります。

携帯端末ではご利用頂けませんのでご了承下さい。

29. 受渡日

現受け・現渡し注文の際の受渡日は当該注文を発生した日の翌々営業日になります。

30. コンバージョン

コンバージョンとは両替のことで、外貨 ex では、円と米ドルを両替することが可能です。両替するにあたり手数料はかかりませんが、リアルタイムのレートに ±20 銭のスプレッドを上乗せしたレートで提示させていただきます。コンバージョンが可能な時間は、原則としてリアルタイム注文受付時間と同様になります。コンバージョン後の金額について、最小取引単位未満の端数は切捨てとします。

- 円の場合: 1円未満切捨
- ドルの場合: 1セント未満捨

以下の条件を満たしているとき、コンバージョン指示が可能となっております。

有効証拠金 > ロスカット基準額 + (必要額 × 10%)

また 1 日当たりの上限額は、「円 米ドル」、「米ドル 円」のコンバージョン金額の円貨額が、一

方だけで 100 万円を超えるか、それぞれ円貨額を差引後の金額が 100 万円を超えるまで可能とします。

携帯端末ではご利用頂けませんのでご了承下さい。

31. 口座番号・パスワードの管理

お取引画面にログインする際の口座番号及びパスワード(暗証番号)はお客様を特定する重要な情報となりますので、その管理には十分なお配慮をお願いいたします。お客様ご本人以外にパスワード等が漏洩し、第三者がお客様の名義で取引を行った場合などには、お客様に重大な影響や損害を及ぼすおそれがあります。

お客様はパスワードを指定することができますが、生年月日、電話番号、同一数字等の他人から推測されやすい番号をパスワードに指定することは避けてください。また、お取引画面でパスワードの変更が可能となっておりますので、適宜、ご変更いただき、パスワードが第三者に漏洩しないようご注意ください。

32. アカウントロック

外貨 ex 取引画面にログインする際に、ログイン ID(外貨 ex 口座番号)、パスワードの操作を連続して 6 回誤って入力されますと口座がロックされ、ログインおよびお取引ができなくなります(アカウントロック)。

アカウントロックの解除が必要な場合は、外貨 ex お客様サービスセンターまでご連絡ください。解除にかかる弊社の所定の方法をご案内致します。

33. お客様へのご連絡

取引証拠金の不足等、弊社が必要と判断した場合等には、弊社の所定の方法により(電子メールを含みます。)ご連絡いたします。

34. お客様との通話の録音について

お客様との間のお取引の管理を正確に行うために、お客様との通話については録音させていただきますので、予めご了承下さい。

35. 取引の報告書について

外貨 ex では成立したお取引(金融先物取引法第 71 条第 1 項に定める事項を含みます。)について、原則として書面は交付いたしません。お取引の報告については、電磁的方法により、交付させていただきますので、ご了承下さい。携帯端末をご利用のお客様は別途、外貨 ex お客様サービスセンターまでお問い合わせ下さい。

36. 税金について

年間に決済した取引の取引損益を通算して利益となった場合は、純利益(為替利益 - 経費)が課税対象になります。よって取引中の金額や出金した金額分ではございません。

また、年間の取引の結果生じた利益は、個人の場合、通常は雑所得(事業所得に該当するものは除きます。)として総合課税の対象となり、他の雑所得の金額と合算することができます。

最終的な雑所得等の合計額が年間で 20 万円を超えた場合には、(例えば年間の給与収入額が 2,000 万円以下の方など、通常は確定申告の必要がない方であっても)確定申告をしなくてはなりません。

尚、詳細につきましては管轄の税務署等へお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

雑所得とは、年金や恩給等の公的年金等、非営業用貸金の利子、著述家や作家以外の人が受ける原稿料や印税、講演料や放送謝金の様に、他の9種類の所得(利子所得、配当所得、事業所得、不動産所得、給与所得、退職所得、譲渡所得、山林所得、一時所得)のいずれにもあたらない所得をいいます。

37. 行政への報告

弊社とお客様との間の外国為替証拠金取引は「外国為替及び外国貿易法」に規定される「資本取引」に該当すると解されます。従いまして、本来ならば財務省令で定められた額(1億円に相当する額)を超えるお取引を行った場合は、お客様並びに弊社は日本銀行を経由して財務大臣に報告の義務がございます。

しかし、弊社では同法の規定に従い「資本取引の相手方となる者の報告を要しない届出」を行い、「届出者」としてお客様に代わって一括報告を行いますので、お客様個々の届出の必要はございません。ただし、関係法令の変更等により、お客様に手続きをして頂くケースが生じるおそれがございますので、予めご留意願います。

38. 資産の保全について

弊社では「信託保全」というしくみを導入し、お客様からお預りしている資産(有効証拠金、但し外貨資産は除きます。)を三井住友銀行に預け、弊社の固有財産と区分して、信託財産として管理しております。この信託保全によって、もし、弊社に万が一の事態が発生した場合、

- (1)三井住友銀行から信託管理人へ、直近の信託額算出時点での信託財産を返還
- (2)信託管理人を通して、ご本人様確認の上、お客様に実際の有効証拠金額に応じて返還することが可能となります。

ただし、信託保全は、お取引の元本を保証するものではありません。為替レートの急激な変動によっては、お客様の元本を超える損失が発生するおそれがあります。

また、入金額を随時信託するのではなく週1回の信託額算出時の有効証拠金額を信託いたします。そのため、お客様よりお預りした時点から信託されるまで最大一週間のタイムラグが生じますので、お預りした時点の有効証拠金額とお客様に返還する有効証拠金額は必ずしも一致しません。

弊社に万が一の事態が起こった場合、信託管理人からお客様に対してその時点の有効証拠金額を上限として金銭を分配して返還致しますが、返還の際、お客様ご本人確認をさせて頂く必要がございますので、お客様の個人情報や信託管理人及び信託先である三井住友銀行に提供することがございます。信託先である三井住友銀行は、外貨 ex のお客様の資産の返還を保証するものではありません。また、三井住友銀行は外貨 ex の運営、および信託管理人の運営および管理責任を一切負いません。

尚、この信託保全は、お客様にご入金頂いた金銭のうち円資のみを保全対象としております。弊社は、外貨建資産については、弊社の固有財産と区分した上、所定の銀行口座にて管理しております。

38. 本取引説明書の変更

本取引説明書は、法令等の新設・改廃、行政機関・自主規制機関の規制等の新設・改廃、又は監督官庁の指示、その他必要が生じたときに改訂されることがあります。尚、改訂の内容が、お客様の従来の権利を制限する又はお客様に新たな義務を課すものであるときは、弊社は、弊社の運営する Web サイトにおける情報通信の方法により、お客様から当該変更について同意を頂くものとします。

この場合、お客様は、Web サイトにて当該変更にご同意いただいた場合に限り、本取引説明書の改訂後も本取引を継続できるものとします。

尚、弊社は、かかる同意を頂いた後、お客様のご要望に応じ、書面にて新たな外国為替取引説明書を送付するものとします。

弊社とお客様との外国為替証拠金取引に関し、ご不明な点がございましたら、外貨 ex お客様サービスセンターまでご連絡下さい。

外貨 ex お客様サービスセンター

電話 :0120-724-277 (平日)午前 8 時～午後 11 時の間に承ります。但し、土日を除きます。

(祝日)午前 9 時～午後 9 時に承ります。

FAX :03-3770-7951(受付は 365 日承っておりますが、ご回答は弊社営業時間内となります。)

e-mail: info@gaikaex.net(受付は 365 日承っておりますが、ご回答は弊社営業時間内となります。)

平成 18 年 5 月 29 日改訂

平成 19 年 3 月 12 日改訂

弊社との外国為替証拠金取引について

取引の際の手続き

お客様が弊社と外国為替証拠金取引をする際の手続きの概要は、次の通りです。

(1) 取引の開始

- a 本取引説明書の交付を受ける
はじめに弊社から約款、規程、本取引説明書が交付されますので、外国為替証拠金取引の取引の概要やリスクなどについて十分ご理解のうえ、ご自身の判断と責任において取引を行う旨が記載された弊社の定める様式による確認書をご提出ください。
- b 外国為替証拠金取引口座の設定
外国為替証拠金取引の開始にあたっては、予め弊社に外国為替証拠金取引申込書、外貨 ex 口座開設リスク確認書を提出し、外国為替証拠金取引口座を設定して頂きます。その際、弊社の指定する本人確認書類のご提示を頂きます。
- c 預金口座の開設
現受け現渡し決済を行う場合には、外貨の受渡しのための預金口座が必要となります。邦銀・外銀を問わず、海外にある支店に口座をご指定になれません。
- d 証拠金の差入れ
弊社指定銀行口座に振り込みによって、当該取引に必要な取引証拠金額以上の証拠金を差入れます。

(2) 注文の指示

外国為替証拠金取引の注文をするときは、弊社の取扱時間内に、次の事項を正確に指示して下さい。

- a 注文する通貨の組合せ
- b 売付取引又は買付取引の別
- c 注文数量
- d 価格(指値又は成行)(指値には、弊社が提示するオファー価格又はビット価格に依る場合を含みます。)
- e 注文の有効期限
- f その他お客様の指示によることとされている事項

(3) 売戻し又は買戻しによる建玉の結了

ポジション(建玉)の反対売買に相当する取引が成立した場合には、売戻し又は買戻しとし、取引数量分がポジション(建玉)から減少します。

(4) 注文をした取引の成立(約定)

注文をした外国証拠金取引が成立(約定)したときは、弊社は、(6)に定めるところに従って、成立した取引の内容等を電磁的方法によりご報告いたします。

(5) 手数料

弊社は、本取引説明書で予め取り決めた料率、額及び方法により取引手数料を徴収します。(弊社が取り扱う外国為替証拠金取引は、通貨を売買の対象とし、受渡し決済を取り扱いますの

で、取引手数料に消費税は課税されません。)

(6)取引状況等の報告

弊社は、取引画面において閲覧可能な PDF 等、電磁的方法による交付により、前日及び前月までのお客様の注文履歴、約定履歴、取引状況等を記録した取引残高報告書等をそれぞれ発行させていただきます。

(7)その他

弊社からの通知書や報告書の記載内容は必ずご確認の上、万一、記載内容に相違又は疑義が生じた場合、遅滞なくその旨を外貨 ex お客様サービスセンターまで直接ご照会下さい。

外国為替証拠金取引の仕組み、取引の手続き等について、詳しくは弊社にお尋ね下さい。

外貨 ex お客様サービスセンター

電話 :0120-724-277 (平日)午前 8 時～午後 11 時の間に承ります。但し、土日を除きます。

(祝日)午前 9 時～午後 9 時に承ります。

FAX :03-3770-7951(受付は 365 日承っておりますが、ご回答は弊社営業時間内となります。)

e-mail: info@gaikaex.net(受付は 365 日承っておりますが、ご回答は弊社営業時間内となります。)

< 参考 > 金融先物取引業者の受託に関する禁止行為

金融先物取引業者は、金融先物取引法により、店頭金融先物取引（外国為替証拠金取引を含みます。以下同じ。）の受託等（一般顧客を相手方として店頭金融先物取引を行い、又は一般顧客のために店頭金融先物取引の媒介、取次ぎもしくは代理を行う行為をいいます。以下同じ。）に関して、次のような行為を禁止されていますので、ご注意ください。

- a 顧客に対し、利益を生ずることが確実であると誤解させるべき断定的判断を提供して受託契約等（店頭金融先物取引の受託等を内容とする契約をいいます。以下同じ。）の締結を勧誘すること。
- b 顧客に対し、損失の全部もしくは一部を負担することを約し、又は利益を保証して受託契約等の締結を勧誘すること。
- c 店頭金融先物取引について生じた顧客の損失の全部もしくは一部を補てんし、又はこれらについて生じた顧客の利益に追加するための当該顧客に財産上の利益を提供する旨を当該顧客に対し申し込み、又は約束すること。
- d 店頭金融先物取引について生じた顧客の損失の全部もしくは一部を補てんし、又はこれらについて生じた顧客の利益に追加するための当該顧客に対し財産上の利益を提供すること。
- e 取引の件数又は数量、対価の額又は約定数値その他の事項について、顧客の同意を得ないで定めることができることを内容とする受託契約等を締結すること。（金融先物取引法施行規則で定める一定の行為については、禁止行為から除外されます。）
- f 受託契約等の締結の勧誘の要請をしていない一般顧客に対し、訪問し又は電話をかけて、受託契約等の締結を勧誘すること。（継続的取引関係にある顧客に対する勧誘及び外国貿易その他の外国為替取引に関する業務を行う法人に対する為替変動リスクのヘッジのための勧誘は禁止行為から除外されます。）
- g 受託契約等の締結の勧誘を受けた顧客が当該受託契約等を締結しない旨の意思（当該勧誘を引き受けることを希望しない旨の意思を含みます。）を表示したにもかかわらず、当該勧誘を継続すること。
- h 受託契約等を締結しないで、店頭金融先物取引の受託等をし、顧客の威迫することによりその追認を求めること。
- i 受託契約等に基づく店頭金融先物取引の受託等をする事その他の当該受託契約等に基づく債務の全部又は一部の履行を拒否し、又は不当に遅延させること。
- j 受託契約等に基づく委託者の計算に属する金銭、有価証券その他の財産又は委託証拠金その他の証拠金を虚偽の相場を利用することその他不正の手段により取得すること。
- k 店頭金融先物取引の受託等の動向その他業務上知り得た特別の情報に基づいて自己又は委託者等以外の第三者の利益を図る目的をもって、店頭金融先物取引の受託等をする事。

- l その取り扱う個人である顧客に関する情報の安全管理、従業者の監督及び当該情報の取扱いを委託する場合にはその委託先の監督について、当該情報の漏えい、滅失又は毀損の防止を図るために必要かつ適切な措置を怠ること。
- m その取り扱う個人である顧客に関する人種、信条、門地、本籍地、保健医療又は犯罪経歴についての情報その他の特別の非公開情報(その業務上知り得た公表されていない情報をいいます。)を、適切な業務の運営の確保その他必要と認められる目的以外の目的のために利用しないことを確保するための措置を怠ること。
- n 店頭金融先物取引の受託等(証拠金その他の証拠金を預託する店頭金融先物取引に係るものに限ります。)につき、顧客に対し、当該顧客が行う通貨等、金融指標又は店頭金融オプションの売付け又は買付けその他これに準ずる取引と対当する取引(これらの取引から生じ得る損失を滅失させる取引をいいます。)の勧誘その他これに類似する行為をすること。
- o 受託契約等の締結を勧誘する目的があることを一般顧客に予め明示しないで当該一般顧客を集めて受託契約等の締結を勧誘すること。

<参考> 外国為替証拠金取引及びその委託に関する主要な用語

外国為替証拠金取引においてよく用いられる用語は以下のような意味を有します。ただし、弊社との間の取引に関して、約款、規程又は本取引説明書において別途定義されている場合には、その定義された意味を有するものとします。また、他社との間の取引においても、異なる意味で以下の用語が用いられている可能性がありますので、お客様の責任にてご確認ください。

アスク

プライスを提示する側の売り値のこと。オファーと意味は同じです。提示された側はそのプライスを買うことになります。(ビッド)

一般顧客(いっばんこきゃく)

金融先物取引に関する専門的知識及び経験を有すると認められる金融先物取引業者もしくは適格機関投資家等又は資本の額が3,000万円以上の株式会社に該当しない顧客をいいます。

インターバンク市場

銀行間取引のことです。この市場の取引参加者は金融機関、大手証券会社などです。参加者は、直接または間接(仲介:ブローキング)に通貨を取引します。

受渡決済(うけわたしけっさい)

先物取引やオプション取引をその原商品とその対価の授受(外国為替証拠金取引の場合は、売り付けた通貨を引き渡して買い付けた通貨を受け取ること)により決済する方法をいいます。

売建玉(うりたてぎょく)

売付取引のうち、決済が終了していないものをいいます。

売戻し(うりもどし)

買建玉を手仕舞う(買建玉を減じる)ために行う売付取引をいいます。

オファー

金融先物取引業者が価格を示して特定数量の商品を売り付ける旨の申し出をすることをいいます。顧客はその価格で買い付けることができます。

外国為替市場

為替取引は基本的に相対取引ですから、お客様と当社の間で取引が行なわれれば、それも一つの「外国為替市場」を形成していると言えます。市場参加者の種類により、銀行をはじめとする金融機関中心の市場を特にインターバンク市場と呼びます。

外国為替証拠金取引(がいこくかわせしょうこきんとりひき)

通貨を売買する外国為替取引と取引金額よりも小額の証拠金を預託して大きな取引を行う証拠金取引を合成した取引で、店頭金融先物取引の一つ。

買建玉(かいたてぎょく)

買付取引のうち、決済が終了していないものをいいます。

買戻し(かいもどし)

売建玉を手仕舞う(売建玉を減じる)ために行う買付取引をいいます。

カバー取引

金融先物取引業者が委託者等相手方として行う外国為替証拠金取引の価格変動によるリスクの減少を目的として、当該外国為替証拠金取引と取引対象通貨、売買の別等が同じ取引所金融先物取引等又は他の金融先物取引業者その他の者を相手方として行う外国為替証拠金取引をいいます。

機関投資家

生命保険会社や信託銀行・年金基金・ヘッジファンドなどを呼びます。

金融先物取引業者(きんゆうさものとひきぎょうしゃ)

委託者からの取引所金融先物取引等の注文を金融先物取引所で執行する業務あるいは他の業者に取り次ぐ業務及び一般顧客を相手方として店頭金融先物取引を行う業務等について、金融先物取引法による登録を受けた者をいいます。

クロス取引

ドルを介さない為替取引のことです。クロス EUD と言えば、EUR を中心にした取引 (EUR/JPY や EUR/GBP など) を意味し、クロス円といえば円を絡めた取引 (EUR/JPY や GBP/JPY、または CHF/JPY など) を意味します。

差金決済(さきんけっさい)

先物取引やオプション取引の決済にあたり、原商品の受渡しをせず、算出された損失又は利益に応じた差金を授受することによる決済方法をいいます。

ショート

ある通貨の売り持ちの状態を言います。ドル円で「ドルショート」という場合は、ドル売りのポジションを表します。(ロング)

スポット

為替市場においては直物取引を指し、取引日から 2 営業日後が決済日になる。

スリッページ

ストップ注文の成立時に生じる、指定したレートと実際に約定したレートとの差のことを言います。一般的に指定していたレートから通常で(1-10)ポイントほど下で売る(上で買う)こととなります。相場の急落/急騰など、市場状況により、このスリッページが大きくなる場合もあります。

ツー・ウェイ・プライス

新規注文の場合、売値と買値の両方を同時に提示します。

デイ・トレード

同日内の売買でポジションをクローズすることです。イントラデイ・トレードとも呼びます。

テクニカル分析

過去の価格の推移など、いわゆる市場内部的要因のデータを統計的に分析して、相場の方向性を予測する手法のこと。

店頭金融先物取引(てんとうさきものとりひき)

金融先物取引所が開設する金融先物市場及び海外金融先物市場によらずに行われる先物・オプション取引をいいます。外国為替証拠金取引は、店頭金融先物取引の一つです。

日銀短観

日銀短期企業経済観測調査のことです。3の倍数月(3月・6月・9月・12月)に発表する経済動向です。

値洗い(ねあらい)

建玉について、毎日の市場価格の変化に伴い、評価替えする手続きを値洗いといいます。

ビッド(Bid)

金融先物取引業者が価格を示して特定数量の商品を買い付ける旨の申し出をすることをいいます。顧客はその価格で売り付けることができます。

ファンダメンタル分析

価格形成を左右する要因の中で、基礎的な要因となるものを分析する手法です。

ヘッジ取引

現在保有しているあるいは将来保有する予定の資産・負債の価格変動によるリスクを減少させるために、当該資産・負債とリスクが反対方向のポジションを先物市場や店頭市場で設定する取引をいいます。

約定日

取引が約定した日のことです。

レバレッジ

テコの原理のことです。レバレッジを効かせることにより、小額の資金でより大きな資金の取引ができます。

ロールオーバー

外国為替証拠金取引において、同一営業日中に反対売買されなかった建玉を翌営業日に繰り越すことをいいます。

ロスカット

委託者の損失が所定の水準に達した場合、金融先物取引業者が、リスク管理のため、委託者の建玉を強制的に決済することをいいます。

ロング

ある通貨の買い持ちの状態を指します。ドル円で「ドルロング」という場合は、ドル買いのポジションを表します。(ショート)

FRB(Federal Reserve Board / Board of Governors of the Federal Reserve System)

米連邦準備理事会のことです。連邦準備銀行もFRB(Federal Reserve Bank)ですが、連邦準備制度理事会では、公定歩合・支払準備率・公開市場操作などの金融政策を行います。FRBは日本の日本銀行と同様、アメリカの中央銀行に相当する機関で、2006年現在の議長はベン・バーナンキ氏です。

FOMC(Federal Open Market Committee)

連邦公開市場委員会。米国の連邦準備制度の金融政策に基づく公開市場操作(マネーサプライの調節、金利・為替水準の誘導等)の方針を決定します。例えば金利操作が事前予想の範囲を大きく超える場合などは、為替にも大きな影響があります。代表的な短期金利の指標であるFF金利の誘導目標等もここで決定されています。